

CASBEE-建築(新築)2021年SDGs対応版
京丹後市庁舎増築棟

■使用評価マニュアル CASBEE-建築(新築)2021年SDGs対応版
■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2021SDGs(v1.1)

スコアシート		実施設計段階							
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点		全体					
		評価点	重み係数	評価点	重み係数	評価点	重み係数	評価点	重み係数
Q 建築物の環境品質								3.5	
Q1 室内環境								3.3	
1	音環境	3.0	0.15	-	-	-	-	3.0	
	1.1 室内騒音レベル	3.0	0.40	3.0	-	-	-		
	1.2 遮音	3.0	0.40	-	-	-	-		
	1 開口部遮音性能	3.0	0.60	3.0	-	-	-		
	2 界壁遮音性能	3.0	0.40	3.0	-	-	-		
	3 界床遮音性能(軽衝撃源)	3.0	-	3.0	-	-	-		
	4 界床遮音性能(重衝撃源)	3.0	-	3.0	-	-	-		
	1.3 吸音	3.0	0.20	3.0	-	-	-		
2	温熱環境	3.0	0.35	-	-	-	-	3.0	
	2.1 室温制御	3.0	0.50	-	-	-	-		
	1 室温	3.0	0.38	3.0	-	-	-		
	2 外皮性能	3.0	0.25	3.0	-	-	-		
	3 ゾーン別制御性	3.0	0.38	-	-	-	-		
	2.2 湿度制御	3.0	0.20	3.0	-	-	-		
	2.3 空調方式	3.0	0.30	3.0	-	-	-		
3	光・視環境	3.7	0.25	-	-	-	-	3.7	
	3.1 屋光利用	3.4	0.30	-	-	-	-		
	1 屋光率	3.0	0.60	3.0	-	-	-		
	2 方位別開口	-	-	3.0	-	-	-		
	3 屋光利用設備	4.0	0.40	3.0	-	-	-		
	3.2 グレア対策	3.0	0.30	-	-	-	-		
	1 屋光制御	3.0	1.00	3.0	-	-	-		
	3.3 照度	4.0	0.15	3.0	-	-	-		
	3.4 照明制御	5.0	0.25	3.0	-	-	-		
4	空気質環境	3.5	0.25	-	-	-	-	3.5	
	4.1 発生源対策	4.0	0.50	-	-	-	-		
	1 化学汚染物質	4.0	1.00	3.0	-	-	-		
	4.2 換気	3.0	0.30	-	-	-	-		
	1 換気量	3.0	0.33	3.0	-	-	-		
	2 自然換気性能	3.0	0.33	3.0	-	-	-		
	3 取り入れ外気への配慮	3.0	0.33	3.0	-	-	-		
	4.3 運用管理	3.0	0.20	-	-	-	-		
	1 CO ₂ の監視	3.0	0.50	-	-	-	-		
	2 喫煙の制御	3.0	0.50	-	-	-	-		
Q2 省エネルギー性能								3.7	
1	機能性	3.7	0.40	-	-	-	-	3.7	
	1.1 機能性・使いやすさ	3.0	0.40	-	-	-	-		
	1 広さ・収納性	3.0	0.33	3.0	-	-	-		
	2 高度情報通信設備対応	3.0	0.33	3.0	-	-	-		
	3 バリアフリー計画	3.0	0.33	-	-	-	-		
	1.2 心理性・快適性	4.3	0.30	-	-	-	-		
	1 広さ感・景観	3.0	0.33	3.0	-	-	-		
	2 リフレッシュスペース	5.0	0.33	-	-	-	-		
	3 内装計画	5.0	0.33	3.0	-	-	-		
	1.3 維持管理	4.0	0.30	-	-	-	-		
	1 維持管理に配慮した設計	5.0	0.50	-	-	-	-		
	2 維持管理用機能の確保	3.0	0.50	-	-	-	-		
2	耐用性・信頼性	3.8	0.30	-	-	-	-	3.8	
	2.1 耐震・免震・制震・制振	4.6	0.50	-	-	-	-		
	1 耐震性(建物のこわれにくさ)	5.0	0.80	-	-	-	-		
	2 免震・制震・制振性能	3.0	0.20	-	-	-	-		
	2.2 部品・部材の耐用年数	3.0	0.30	-	-	-	-		
	1 躯体材料の耐用年数	3.0	0.20	-	-	-	-		
	2 外壁仕上げ材の補修必要間隔	3.0	0.20	-	-	-	-		
	3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔	3.0	0.10	-	-	-	-		
	4 空調換気ダクトの更新必要間隔	3.0	0.10	-	-	-	-		
	5 空調・給排水配管の更新必要間隔	3.0	0.20	-	-	-	-		
	6 主要設備機器の更新必要間隔	3.0	0.20	-	-	-	-		
	2.4 信頼性	3.4	0.20	-	-	-	-		
	1 空調・換気設備	3.0	0.20	-	-	-	-		
	2 給排水・衛生設備	5.0	0.20	-	-	-	-		
	3 電気設備	3.0	0.20	-	-	-	-		
	4 機械・配管支持方法	3.0	0.20	-	-	-	-		
	5 通信・情報設備	3.0	0.20	-	-	-	-		

3 対応性・更新性			3.5	0.30	-	-	3.5
3.1	空間のゆとり		4.2	0.30	-	-	
1	階高のゆとり	階高4.3m	5.0	0.60	3.0	-	
2	空間の形状・自由さ	壁長さ比率0.11	3.0	0.40	3.0	-	
3.2	荷重のゆとり		3.0	0.30	3.0	-	
3.3	設備の更新性		3.4	0.40	-	-	
1	空調配管の更新性		3.0	0.20	-	-	
2	給排水管の更新性		3.0	0.20	-	-	
3	電気配線の更新性	適切な場所へ点検口等設置	5.0	0.10	-	-	
4	通信配線の更新性	適切な場所へ点検口等設置	5.0	0.10	-	-	
5	設備機器の更新性		3.0	0.20	-	-	
6	バックアップスペースの確保		3.0	0.20	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)			3.5	0.30	-	-	3.5
1	生物環境の保全と創出		3.0	0.30	-	-	3.0
2	まちなみ・景観への配慮	峰山庁舎の正面性に配慮	4.0	0.40	-	-	4.0
3	地域性・アメニティへの配慮		3.5	0.30	-	-	3.5
3.1	地域性への配慮、快適性の向上	地元産材の利用や市民利用スペースの設置など	5.0	0.50	-	-	
3.2	敷地内温熱環境の向上		2.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性							3.7
LR1 エネルギー			4.5	0.40	-	-	4.5
1	建物外皮の熱負荷抑制	BPIm=0.66	5.0	0.20	-	-	5.0
2	自然エネルギー利用	自然採光、通風の確保	4.0	0.10	-	-	4.0
3	設備システムの高効率化	BEIm=0.67	4.3	0.50	-	-	4.3
4	効率的運用		3.0	0.20	-	-	3.0
	集合住宅以外の評価		3.0	1.00	-	-	
4.1	モニタリング		3.0	0.50	-	-	
4.2	運用管理体制		3.0	0.50	-	-	
	集合住宅の評価		-	-	-	-	
4.1	モニタリング		3.0	-	-	-	
4.2	運用管理体制		3.0	-	-	-	
LR2 資源・マテリアリティ			3.6	0.30	-	-	3.6
1	水資源保護		3.4	0.20	-	-	3.4
1.1	節水	節水型便器を採用	4.0	0.40	-	-	
1.2	雨水利用・雑排水等の利用		3.0	0.60	-	-	
1	雨水利用システム導入の有無	雨水利用をしている	3.0	0.70	-	-	
2	雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.30	-	-	
2	非再生性資源の使用量削減		3.8	0.60	-	-	3.8
2.1	材料使用量の削減		3.0	0.10	-	-	
2.2	既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.20	-	-	
2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用		3.0	0.20	-	-	
2.4	躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	地元産木材、再生骨材など	5.0	0.20	-	-	
2.5	持続可能な森林から産出された木材		3.0	0.10	-	-	
2.6	部材の再利用可能性向上への取組み	スケルトンインフィル工法の採用	5.0	0.20	-	-	
3	汚染物質含有材料の使用回避		3.3	0.20	-	-	3.3
3.1	有害物質を含まない材料の使用	使用建築材料は全てF☆☆☆☆材料を使用する	5.0	0.30	-	-	
3.2	フロン・ハロンの回避		2.6	0.70	-	-	
1	消火剤		2.0	0.33	-	-	
2	発泡剤(断熱材等)		3.0	0.33	-	-	
3	冷媒	CO2冷媒冷凍機	3.0	0.33	-	-	
LR3 敷地外環境			3.3	0.30	-	-	3.3
1	地球温暖化への配慮	LCCO2=77%	3.9	0.33	-	-	3.9
2	地域環境への配慮		3.0	0.33	-	-	3.0
2.1	大気汚染防止		3.0	0.25	-	-	
2.2	温熱環境悪化の改善		3.0	0.50	-	-	
2.3	地域インフラへの負荷抑制		3.2	0.25	-	-	
1	雨水排水負荷低減		3.0	0.25	-	-	
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
3	交通負荷抑制	適切な自転車置場、駐車場の確保を行う	4.0	0.25	-	-	
4	廃棄物処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
3	周辺環境への配慮		3.0	0.33	-	-	3.0
3.1	騒音・振動・悪臭の防止		3.0	0.40	-	-	
1	騒音		3.0	0.33	-	-	
2	振動		3.0	0.33	-	-	
3	悪臭		3.0	0.33	-	-	
3.2	風害、砂塵、日照障害の抑制		3.0	0.40	-	-	
1	風害の抑制		3.0	0.70	-	-	
2	砂塵の抑制		3.0	-	-	-	
3	日照障害の抑制		3.0	0.30	-	-	
3.3	光害の抑制		3.0	0.20	-	-	
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		3.0	0.70	-	-	
2	屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-	

CASBEE-建築(新築)2021年SDGs対応版

京丹後市庁舎増築棟

評価する取組み	合計	合計2	No.1	No.2	No.3	No.4	No.5	No.6	No.7	No.8	No.9	No.10	No.11	No.12	No.13
Q2 サービス性能															
1.2.3 内装計画	4.0	2.0	○	○	○	○	-	○	-	○					
1.3.1 維持管理に配慮した設計	10.0		○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	-
1.3.2 維持管理用機能の確保	6.0		-	○	○	-	-	○	○	-	-		○	○	-
2.4.1 空調・換気設備	1.0		-	-	-	-	○	-	-	-					
2.4.2 給排水・衛生設備	4.0	4.0	○	-	○	○	-	-	○						
2.4.3 電気設備	2.0	1.0	○	-	○	○	-	-	-						
2.4.5 通信・情報設備	2.0		-	-	○	○	-	-	-						
Q3 室外環境(敷地内)															
1 生物資源の保全と創出	7.0		-	-	1.0	-	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	-		
2 まちなみ・景観への配慮	4.0		2.0	1.0	-	-	1.0	-	-						
3.1 地域性への配慮、快適性の向上	5.0		-	1.0	1.0	1.0	1.0	-	-						
3.2 敷地内温熱環境の向上	3.0		-	-	1.0	1.0	-	1.0	-	-					
LR1 エネルギー															
2 自然エネルギー利用	2.0		-	○	○	-	○	-	-	-	○	-	-	-	-
LR2 資源・マテリアル															
1.2.2 雑排水等再利用システム導入の有無			-	-	-	-	-	-	-	-					
2.1 材料使用量の削減	1.0		-	-	1.0										
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用			-	-	-	-	-	-	-	-					
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み	2.0		○	○	-	-	-	-	-	-					
3.1 有害物質を含まない材料の使用	17.0														
LR3 敷地外環境															
2.2 温熱環境悪化の改善	6.0		-	-	-	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	-	1.0			
2.3.3 交通負荷抑制	3.0		1.0	-	1.0	1.0	-	-	-	-					
2.3.4 廃棄物処理負荷抑制	3.0		-	1.0	1.0	1.0	-	-	-	-					
3.2.2 砂塵の抑制	2.0		2.0	-	-	-	-	-	-	-					
3.3.1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	2.0		2.0	-	-	-	-	-	-	-					

主な指標

Q1 室内環境

2.1.3 外皮性能

窓システムSC	0.5	窓の日射熱取得率(η) -			
U値(W/m2K)		窓システム 4.0	屋根 2.0	外壁 2.0	床 2.0
住戸部分		窓システムU値 -	外皮UA値 -	ηAG -	ηAH -
昼光率	0.0%				
自然換気有効開口面積率	3.3%				

3.1.1 昼光率

4.2.2 自然換気性能

Q2 サービス性能

1.1.1 広さ・収納性

執務スペース	6.0㎡/人	病床	8.0㎡/床	シングル	15.0㎡ ツイン	22.0㎡
コンセント容量	30.0 VA/㎡					
天井高	2.5 m					
リフレッシュスペース	0.5%	レストスペース	2.0%			
想定耐用年数	25 年					
想定必要間隔	20 年					
想定必要間隔	0 年					
想定必要間隔	0 年					
階高	4.3 m					
壁長さ比率	11.0%					
床荷重	4000 N/m2					

Q3 室外環境(敷地内)

1 生物資源の保全と創出

3.2 敷地内温熱環境の向上

外構緑化指数	20%	建物緑化指数	3%		
空地率	20%	水平投影面積率	3%	地表面対策面積率	4%
		舗装面積率	2%		

LR1 エネルギー

1 建物外皮の熱負荷抑制

2 自然エネルギー利用

BPI/BPI _m	0.66	断熱等性能等級	等級2 相当		
自然エネルギー直接利用量	0 MJ/年㎡	採光を満たす教室数	80.0%	採光を満たす住戸数	80.0%
		通風を満たす教室数	80.0%	通風を満たす住戸数	80.0%
BPI/BPI _m	非住宅 0.67	住宅	-	太陽光 .0kW	太陽熱等 .0kW
				蓄電池 .0kW	

3 設備システムの高効率化

LR2 資源・マテリアル

1.2.1 雨水利用システム導入の有無

2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用

2.5 持続可能な森林から産出された木材

雨水利用率	0.0%				
特定調達品目	集材材、合板、ビニエコマーク商品	-	自治体指定の特定品目等	-	
使用比率	5.0%				
オゾン層破壊係数(ODP)		地球温暖化係数(GWP)			
オゾン層破壊係数(ODP)	0	地球温暖化係数(GWP)	1430		
オゾン層破壊係数(ODP)	0	地球温暖化係数(GWP)	8		

LR3 敷地外環境

2.2 温熱環境悪化の改善

見付面積比	44%	隣接間隔指標Rw	0.40		
地表面対策面積率	9.0%	屋根面対策面積率	1.0%	外壁面対策面積率	1.0%
見付面積Sb	40,000㎡	卓越風向と直交する最大敷地幅Wa	200 m	基準高さHb	450 m
緑地	250㎡	水面	㎡	保水性対策面	300㎡
		高反射対策面	200㎡	再帰性反射対策面	300㎡